

【国際交流】第23回オーストラリア研修

令和6年7月22日から8月6日までの16日間、1年生2人、2年生15人を含む、第23回オーストラリア研修団が西オーストラリア州パース近郊にある姉妹校、ロスモイン高等学校（Rossmoyne Senior High School）を訪問しました。

長年続いてきたこの伝統あるプログラムを通じて、生徒たちが肌で感じた「生きた国際交流」の様子をご報告します。

■ ロスモイン高校での学校生活

パースの美しい自然に囲まれたロスモイン高校で、生徒たちは現地のバディ（相棒）と共に授業に参加しました。日本とは異なるアクティブな授業スタイルに最初は戸惑いながらも、次第に英語でのディスカッションに積極的に加わる姿が見られました。数学や科学、体育など、共通の話題がある教科では、言葉の壁を越えて現地の生徒と熱心に交流する場面が数多く見られました。

■ ホームステイで学ぶ「本当のオーストラリア」

滞在期間中は、現地の家庭にホームステイをしました。家族の一員として過ごす中で、オーストラリアの多様な食文化や家庭のあり方、そして何より現地の温かなホスピタリティに触れました。「最初は英語が通じるか不安だったけれど、最後は本当の家族のように過ごせた」と語る生徒も多く、16日間という時間が確かな信頼関係を育みました。

■ 相互派遣：交流は12月へ

このプログラムの醍醐味は、夏に私たちがパースを訪れるだけでなく、**12月にはロスモイン高校の生徒を本校の家庭にホームステイとして受け入れる「相互交流」**にあります。今回お世話になったバディやホストファミリーとの再会を楽しみに、生徒たちは自分たちが体験した「最高のおもてなし」を次は日本で返そうと、様々なイベントを実施しました。

■ 研修を終えて

16日間の団体生活と異文化体験を経て、生徒たちは語学力だけでなく、自律心と国際的な視野を大きく広げました。第23回という歴史を積み重ねたこの研修が、次代を担うリーダーたちの大きな成長の場となったことを確信しています。ご支援いただきました本校の国際交流基金に対して深くお礼申し上げます。

